

とよた市議会だより



エントランス広場



多目的ホール

前林交流館



交流スペース

浄水中学校・交流館



寺部小学校・こども園



平成28年4月開校・利用スタート

平成28年4月、市内に新たな施設が誕生します。(左)市内初の中学校と交流館の合築となる浄水中学校・交流館。(中)老朽化により、建て替えとなった前林交流館は市内初の平屋建ての交流館。(右)市内初の小学校とこども園の合築となる寺部小学校・こども園です。(いずれもイメージ図です)

地域自治区条例の一部改正条例(議案第110号)

新しく浄水地域会議が誕生!

..... 新しく中学校が設置されることにより、挙母地域自治区内に浄水地域会議が設置されます。

和紙のふるさと条例の一部改正条例(議案第124号)

伝統文化を学び、さらに利用しやすい施設へ

... 利用しやすい体験メニューの追加、利用料金の変更を行います。

- **トップインフォメーション** 常任委員会の行政視察 2
- **議案説明・討論** 条例の一部改正・工事請負契約の締結など 4
- **議案審議結果** 5
- **常任委員会** 付託案件・請願を審査 6

市政について問う!

- **一般質問** 23人の議員が質問 8

■ **トピックス**

地域市議会報告会

中学生の議会傍聴 など 12

**定例
会号**

12月市議会
平成28年1月15日



常任委員会 の 行政視察

市政の課題や先進事例の調査を行うために、行政視察を行っています。



議会、議員の活動は、議場や会議室だけにとどまらず、市政の課題や先進事例の調査を行うために他都市への行政視察や、市内の施設、取組についての視察などを行っています。

視察後は意見交換会を開催し、調査事項に対する委員間の情報共有を図り、理解を深めます。その結果は、委員会の報告書として取りまとめ、所管の部局へ情報提供したり、本会議や委員会での質疑や提言に生かすなどし、市政に反映していきます。

今回は5つの常任委員会が、今年度行った国内視察、管内(市内)視察の内容をお知らせします。



宮崎県日向市での
視察の様子

企画総務委員会

● 視察日／調査場所と項目

7月14日(火)～16日(木)

- 福岡県北九州市「環境未来都市の取組」
- 宮崎県日向市「まちづくり総合計画」
- 宮崎県宮崎市「有効的な市政情報発信」

11月13日(金)

- 豊田・岡崎地区 研究開発施設用地造成事業の整備状況(下山地区)
- 小水力発電の取組(下山地区)
- 旭高原元気村の運営状況(旭地区)

豊田・岡崎地区研究
開発施設用地造成
事業の整備状況



生活社会委員会

● 視察日／調査場所と項目

8月4日(火)～6日(木)

- 愛媛県松山市「消防団員確保への取組、防災士日本一への取組」
- 大阪府堺市「下水再生水を活用した取組」
- 三重県鈴鹿市「すずか減災プロジェクト」

11月26日(木)

- どんぐりの里いなぶの運営状況(稲武地区)
- 里山くらし体験館 すげの里の運営状況(足助地区)



愛媛県松山市での
視察の様子

里山くらし体験館
すげの里運営状況





新潟県新潟市での
視察の様子



市内小学校デジタル教科書及び少人数数学級の取組状況

教育次世代委員会

● 視察日 / 調査場所と項目

7月14日(火)～16日(木)

東京都板橋区「赤ちゃんの駅」の取組
新潟県新潟市
「野外型子育て支援センター森の家」
静岡県浜松市
「小中一貫教育・小中一貫校の推進」

11月26日(木)

柳川瀬子どもつどいの広場の運営状況
(上郷地区)
デジタル教科書及び少人数数学級の取組状況
(上郷地区)

環境福祉委員会

● 視察日 / 調査場所と項目

7月21日(火)～23日(木)

兵庫県尼崎市「高齢者等の見守りの取組」
広島県呉市「減塩による健康増進の取組」
大阪府大阪市「PCBの適正管理」

11月25日(水)

豊田PCB処理事業所の運営状況
(挙母地区)
こども発達センターの運営状況
(挙母地区)

兵庫県尼崎市での
視察の様子



豊田PCB処理事業
所の運営状況



岡山県倉敷市での
視察の様子

産業建設委員会

● 視察日 / 調査場所と項目

7月14日(火)～16日(木)

滋賀県彦根市
「空き家等の適正管理に関する条例」
徳島県徳島市
「定住基盤の確保に向けた取組」
岡山県倉敷市
「観光振興に繋げるためのフィルム
コミッション事業」

11月25日(水)

卸売市場の運営状況(挙母地区)
御船産業廃棄物処分場の運営状況
(猿投地区)

卸売市場の運営状況





条例の一部改正、平成27年度補正予算など37議案を議決

貴重な文化財を広く公開

【議案第116号】文化財施設条例の一部改正条例

内容 平戸橋町にある民芸の森、寺部町にある旧松本家長屋門の修繕を行い、平成28年度から一般公開を始めます。

また、棒の手会館の特別展示室の利用区分を変更し、より利用しやすくします。



民芸の森(田舎家)



旧松本家長屋門

将来に備えて基金を積み増し、福祉・医療も充実!!

【議案第127号】一般会計補正予算

内容 自動車産業を中心とした市内企業の好調な業績を反映し、108億円の税収増となります。将来市税の減収が予想されることから、各種基金への積み増しを行っており、今回は保健医療福祉基金へ104億円を積み立て、将来に備えます。

また、こども医療費への助成や障がいのある子どもたちが、夏休みや放課後などに通える放課後デイサービスの充実などにも努めます。

保健医療福祉基金とは? → 少子高齢化が進み、財政構造が変化する中でも、市民の健康・医療・福祉の施策に取り組むための基金

討 論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

※発言順に記載

大村 義則 諸 派 リスクのあるマイナンバー制度との連動に反対

議案第123号：反対。国民健康保険税の減免申請書等の記載事項に個人番号を追加する事について、情報漏洩のリスクがあるマイナンバー制度と税部門を連動させるべきではなく反対。

請願2号：同意。請願提出者である自治体キャラバン実行委員会は、県内全ての自治体を回って社会保障の拡充を働きかけ、妊婦健診の助成回数拡大など全自治体に採用された施策も多い。運動として本請願趣旨に賛成。

清水 郁夫 自民クラブ 郷土の誇り倉知氏の名誉市民推挙に賛成

議案第123号：賛成。国民健康保険税の減免申請に個人番号を届けるものであるが、申請時の預貯金通帳の提出・転入転出時の旧被扶養者減免異動連絡票の提出の省略等、手続き簡素化に繋がるため賛成。

議案第146号：賛成。今回推挙される倉知氏は、名誉市民条例第2条における公共の福祉増進、産業文化の進展に寄与し、市民の敬仰を受け、本市に縁故の深いもの又は市民生活向上・市の発展に貢献し、郷土の誇りとして尊敬を受けるものであり、賛成。

岡田 耕一 諸 派 費用、事務時間の削減効果に期待し賛成

議案第112号：賛成。今回の改正により平成26年度実績で202万円削減、事務処理時間1,229時間、325万円相当の削減効果が確認でき、これを評価し賛成。

議案第146号：反対。政治家は、住民へ奉仕することが職務であり、公共の福祉増進、産業文化の発展に寄与するのは当然。あえて名誉市民に推挙する必要性を感じない。名誉市民になることで公金から功労金として一時金又は、年金を授与することも疑問であり反対。

古木 吉昭 市民フォーラム 市外への転出超過の抑制を期待し賛成

議案第125号：賛成。豊田市平戸橋土地区画整理事業では、本来15mの高さ制限を12mとして住環境を保全、新たに80戸の宅地供給予定がある事も確認した。今後も定住施策を推進し本市の転出抑制に繋がる事を期待し賛成。

請願第2号：不同意。請願内容の取組は本市では既に実施済み、あるいは本市独自の優位性を持っている。また、消費税増税は社会保障の充実と安定化を図る事に加え、子ども・子育て支援など、未来への投資・国民への還元であり、請願に対して不同意。

田代 研 公明党 精神障がい者の負担を減らす改正に賛成

議案第113号：賛成。納税者の負担軽減を図る趣旨であり、猶予制度の申請手続きが明確化された事、猶予適用の際に担保が必要となる条件が緩和された事等、市民が利用しやすい制度になっており賛成。

議案第118号：賛成。自立支援医療受給者も通院医療の受給資格者となった事、手帳1・2級保持者については、入院医療も助成対象になった事、またその助成が償還払いから現物支給となった事等、精神障がい者の負担が軽減されることから賛成。



議案審議結果

～とよた市議会だより～

平成27年

12月
定例会号

※議案名など一部省略して記載しています

| 12月市議会定例会に提出された案件 | | 採決結果 | 会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く | | | | | | | |
|-------------------|---|------|--------------------|----|------------|----|-------|----|------|----|
| | | | 自民クラブ27名 | | 市民フォーラム10名 | | 公明党4名 | | 精進3名 | |
| | | | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 |
| ◆議案 | | | | | | | | | | |
| 第110号 | 地域自治区条例の一部改正条例 | 原案可決 | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 111 | 市議会議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 112 | 市職員旅費条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 113 | 市税条例等の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 114 | 市立学校設置条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 115 | 生涯学習センター条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 116 | 文化財施設条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 117 | 民生委員定数条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 118 | 医療費助成条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 119 | 市立保育所条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 120 | 心身障害者生活材料支給条例及び旅館業の施設の衛生管理及び構造設備の基準等に関する条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 121 | 婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 122 | 興行場の設置の場所及び構造設備の基準等に関する条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 123 | 国民健康保険税条例等の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 1 | 2 |
| 124 | 和紙のふるさと条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 125 | 地区計画等の区域内における建築物制限条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 126 | 消防団員等公務災害補償条例の一部改正条例 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 127 | 平成27年度一般会計補正予算 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 128 | // 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 129 | // 卸売市場特別会計補正予算 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 130 | // 介護保険事業特別会計補正予算 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 131 | // 簡易水道事業特別会計補正予算 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 132 | // 後期高齢者医療特別会計補正予算 | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 133 | 工事請負契約の締結(一級河川安永川開水路整備工事(高橋細谷線関連)) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 134 | 工事請負契約の変更(一級河川安永川開水路整備工事(秋葉工区)) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 135 | 指定管理者の指定(教職員会館テニスコート) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 136 | // (生涯学習センター浄水交流館) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 137 | // (石畳ふれあい広場) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 138 | // (浅野会館) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 139 | // (小原北部生活改善センター) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 140 | // (老人憩の家あさひ荘) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 141 | // (敷島農村環境改善センター敷島会館) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 142 | // (築羽農村環境改善センター築羽会館) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 143 | // (笹戸生活改善センター笹戸会館) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 144 | // (小原トレーニングセンター及び緑の公園) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 145 | // (新婚者住宅すまいる聖心ほか22施設) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 146 | 名誉市民の推挙(倉知俊彦氏) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 2 | 1 |
| ◆同意 | | | | | | | | | | |
| 第9号 | 固定資産評価審査委員会委員の選任(再任:川上明子氏 新任:白鳥亜紀氏、塚本章雄氏) | 同意 | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 10 | 人権擁護委員の推薦(再任:石川みつ子氏、中村美弥子氏、本田哲康氏 新任:稲垣忠彦氏) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| 11 | 公平委員会委員の選任(再任:岩槻氏) | // | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 0 | 3 | 0 |
| ◆報告 | | | | | | | | | | |
| 第10号 | 専決処分報告(調停の成立1件、損害賠償額の決定10件、訴えの提起2件、和解の成立2件) | | | | | | | | | |
| ◆請願 | | | | | | | | | | |
| 第2号 | 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書 | 不採択 | 0 | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 2 | 1 |
| 3 | 小学校の全学年で少人数学級を実施するための請願書 | // | 0 | 27 | 0 | 10 | 0 | 4 | 3 | 0 |
| ◆陳情 | | | | | | | | | | |
| 第6号 | 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書 | | | | | | | | | |
| 7 | 「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める陳情書 | | | | | | | | | |
| 8 | 愛知県看護職員15万人体制などの実現を求める陳情書 | | | | | | | | | |
| 9 | 国に対して「子ども・子育て支援新制度に対する意見書」の提出を求める陳情書 | | | | | | | | | |



12月9日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、6つの常任委員会で行いました。
委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

産業建設 委員会

12月10日、付託された10議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第133号】工事請負契約の締結
一級河川安永川開水路整備
備工事(高橋細谷線関連)

質問 内山橋の架け替え工事では、長い期間の通行規制が予想されるが、工事期間中は仮橋を設置するのか。また、設置しなければ迂回路は、どのように考えているのか。

答弁 内山橋の架け替え工事に伴い、橋の前後の市道秋葉線は、全面通行止めを予定している。仮橋の設置は、設置場所が発破掘削の作業場所に近接することから、発破の影響等に対する通行の安全確保や仮橋設置のコスト等を考慮した結果、仮橋を設置しない方が良いと判断した。また、工事期間中は、市道高橋細谷線並びに周辺の市道を迂回路として使用する予定である。



内山橋

環境福祉 委員会

12月11日、付託された6議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。他に陳情3件を報告しました。

【第118号】豊田市医療費助成条例の一部を改正する条例

質問 職場のストレス等によりうつ病を発症する人が多いとのことだが、職場環境の現状と改善について市の取組はどのようなか。

答弁 厚生労働省から発表された資料によると、精神障がいの原因とする労災補償の請求件数は年々増加傾向にあり、平成26年度には過去最高となっている。このような状況を受け、労働安全衛生法が改正され、事業者によるストレスチェック検査と必要に応じた医師の面談・指導の実施が義務化された。また、本市では、心の健康づくりの観点から、職場環境改善のための取組として、心の健康づくりニュースレターを発行している。これは、事業所における就労者とその家族の方の健康づくりへの意識の向上を目的として関係機関に配布しているものである。

教育次世代 委員会

12月14日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願2件は不採択としました。他に陳情1件を報告しました。

【第114号】豊田市立学校設置条例の一部を改正する条例

質問 浄水中学校新設に伴い、梅坪台中学校に通う生徒が分離されることになるが、その生徒へのケアはどのようなか。

答弁 これまで、新しく中学校を整備する理由や、整備の進捗状況などを記載したかわら版を作成し、学校から生徒に配付することで、現状を知ってもらうことに努めてきた。今後は、梅坪台中学校で3月に分離式を行う。

【第116号】豊田市文化財施設条例の一部を改正する条例

質問 民芸の森駐車場の交通安全対策はどのようなか。

答弁 平成26年度に二つの対応策を講じた。一つ目は、運転者の視界を十分に確保するために、出入り口の位置が敷地の中央にあったものを、駐車場に面する県道がカーブする地点から最も遠い東の端に移すとともに、出入り口の幅を3メートルから18メートルに広げた。二つ目は、県道を走行する車両及び歩行者に注意を喚起するため、出入り口に在庫警告表示灯を設置した。あわせて、大規模イベント開催時には、出入り口に交通整理員を配置し、安全確保を図っていく。

生活社会 委員会

12月15日、付託された6議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第115号】豊田市生涯学習センター条例の一部を改正する条例

質問 浄水中学校と交流館の併設による、利用の重複を防ぐための対策はどのようなか。

答弁 現在、交流館では、紙の台帳を使用して予約などの管理を行っている。今回の浄水交流館では、中学校と別々の台帳を持つのではなく、インターネットを利用して管理システムを作成し、共用部屋の管理を行う。台帳を一つにすることで、予約の重複を防ぐほか、インターネット上の台帳は市民がいつでも見られるように公開し、リアルタイムの空き状況を確認できるように



委員会

する。なお、豊田市で初めての貸出形態のため、利用状況に合わせて対応していきたい。

【第124号】豊田市和紙のふるさと条例の一部を改正する条例

質問 条例改正に至った理由、体験メニューの追加や料金改定による効果、また、和紙のふるさとの方針はどのようなか。

答弁 アンケートや利用者の声から、ニーズへの対応、利用者の増加、絵すきの普及などの課題があった。さらに、文化庁の補助事業として愛知県立芸術大学と取り組んだ小原和紙の文化芸術再創事業の提言を受け、新たな体験メニューの追加と料金改定に至った。

本年度の利用者数は11月末現在、既に前年度実績を300人程上回っている。また、今回の体験メニューの追加と料金改定により、500人以上の増加を見込んでいる。今後は、地域文化と世界的な紙文化との交流、情報発信拠点となる取組の推進、ブランド力を高めるための和紙原料の地産化、永続的な発展と人材育成に取り組んでいく。



和紙のふるさとでの体験の様子

企画総務 委員会

12月16日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認し、請願1件は不採択としました。

【第113号】豊田市市税条例等の一部を改正する条例

質問 新設された「換価の猶予」の部分について、納税者の申請が追加された理由とその効果はどのようなか。

答弁 今回新設されたのは、申請による換価の猶予であり、全額を一度に納付することが困難であるときに、納税者から申請をするもので、申請期限や市税の滞納について条件をつけることにより、計画的な納付を確保することができるため、新設された。

また、効果は、納税者の視点に立って、その申し出の内容を十分に聴取する機会が設けられ、換価の猶予の活用を図ることが可能となったことである。

予算決算 委員会

12月9日から18日にかけて、付託された補正予算6議案を審査し、すべての議案を全会一致で承認しました。

【第127号】平成27年度 豊田市一般会計補正予算 (歳入 法人市民税)

質問 2年連続で、法人市民税増加分の全額を、基金積み立てとしているが、子育て支援等、各部局からの要請で早急な補正事業として行う必要のあるものはなかったか。

答弁 補正予算は、全部局からの要求に基づき、計上しているが、今回の増収分を利用して、緊急に実施しなければならない大型事業の要求はなかった。その理由は、大きく3点あると考えられ、1点目は、

通常12月補正段階では、当初予算への要求を優先すること。2点目は、大型事業は単年度予算の原則に基づく年度内での執行が難しいこと。3点目は、国の補正予算を活用する事業等は、補正予算成立後の対応が原則となることが挙げられる。

【第127号】平成27年度 豊田市一般会計補正予算 (地域包括支援センター運営費)

質問 基幹包括支援センターの移転により期待される効果は何か。

答弁 地域包括ケアシステム的一端を担う、在宅介護と在宅医療の連携、医介連携を本市で推進するためには、高齢者の在宅医療の拠点と位置づけている地域医療センターと、高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの連携強化が不可欠であると考えている。これら二つの窓口を併設することで、互いに機能を補完し合い、また、ワンストップサービスを実現することにより、高齢者の在宅医療と、在宅介護の連携を効率的かつ迅速に進めることが可能になると考えている。

【第127号】平成27年度 豊田市一般会計補正予算 (債務負担行為補正) [放課後児童健全育成事業]

質問 畝部小学校の移転新築する仮設放課後活動室の面積と定員数及び規模はどうなるのか。

答弁 活動室の延べ床面積は119.24平方メートル、定員は60名を設定しており、規模は変わらない。



12月7日から9日にかけて、23人の議員が市政の方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。詳細については市議会ホームページ内の録画映像か、市役所市政情報コーナー（南庁舎1階）、中央図書館、コミュニティセンター、地区交流館に配布する2月下旬発行予定の会議録をご覧ください。

清水郁夫

自民クラブ



- TPPの豊田市への影響と対応
- 豊田市の「ごみ屋敷」への対応
- 学校における「きめ細かな指導」の充実

質問 TPPの豊田市の農業への影響と対応

農林水産省よりTPP対策案が示されたが、現時点で市として講じられる方策があるか伺う。

答弁 産業部

基本的に個々の農業経営体を強くする支援を行っていく。大規模経営体の水田農業等は農地集約等による一層の効率化や高性能機械の導入支援を、野菜や果物、花、お茶、畜産物等は地域の特性を生かした特産品化や6次産業化による高付加価値化等、意欲ある農家の経営向上を支援していく。TPP発効はまだ先で、本市の農業にどう作用するか予測できない部分もあるため、動向を注視し、しっかり対応していきたい。

作元志津夫

市民フォーラム



- 豊田市の将来のまちづくり
- 土砂採取の諸問題

質問 太田市長の2期目に向けた思いを問う

太田市長に、就任1期目の総括と2期目に向けてどのような将来を描き進めるのか伺う。

答弁 市長

1期目は、子育て環境の向上や健康長寿に向けた取組の加速、都市と農山村の地域資源を生かしたまちづくりへの挑戦や産業振興、市民共働の地域づくり・行財政改革等を積極的に推進してきた。2期目は、WE LOVE とよた「子どもたちへつなぐ安心で活力と魅力あふれるまち豊田」を掲げ、地域への愛着や誇り溢れる豊田市を作っていく。今年は第8次総合計画を策定する。市民力・地域力・企業力に加え、WE LOVE とよたの取組を充実し、次代への確固たる基盤を構築したい。

都築繁雄

自民クラブ



- ラグビーW杯2019に向けたまちづくり
- 豊田市文化ゾーン整備方針
- 南部1次救急診療所の整備事業
- 日本版「首長誓約」

質問 2019年の開催に向けた庁内の推進体制

ラグビーW杯開催にあたり早急に組織体制を整え、準備を推進する必要があると考えるが、どのような組織編成で、いつ開設するのか伺う。

答弁 副市長

ラグビーW杯の業務は、県と連携して開催支援委員会を設立、広報・PR活動やラグビーの普及活動、庁内関係課との情報共有等を行っている他、イングランド大会の公式視察も行い開催準備を学んだ。開催3年半前となる来年度当初からは、市議会特別委員会をはじめ関係者と意見交換し、新たな体制を検討していきたい。その結果により、平成28年3月議会で新たな組織を置くための事務分掌条例の一部改正の提案も考えている。

日當浩介

市民フォーラム



- 豊田市の観光まちづくりへの取組

質問 豊田市の観光事業の取組

本市の魅力を訪訪者に発信するため、豊田市駅前に、ものづくりのまちを実感できる展示物や地域の農産物等の販売を行う豊田市らしい情報発信拠点を設置してはどうか。

答弁 産業部

情報発信拠点は、関係団体等からも設置を望む意見を頂いており必要性を認識している。現在策定を進めている都心環境計画にも「ウェルカムセンター」として盛り込んだ。しかし、情報発信拠点は様々な機能が考えられることから、観光協会組織の見直しと合わせて、持つべき機能や形態、場所等を検討していく。

吉野英国

市民フォーラム



- 自転車の運転マナー向上と環境整備

質問 自転車運転者のマナー向上

小学生では4年生のみ自転車安全運転教育を行っているが、自転車に乗り始める低学年から高学年まで、全学年に対して指導が必要と考えるが、市の考えを伺う。

答弁 社会部

小学生への交通安全教育は、主に交通安全学習センターにおける施設内講習と出張講習がある。全児童に施設内講習を行うことは困難なため、基礎講習は1年生、実技を伴う自転車講習は4年生を対象に実施している。11月末までに1年生2,778人、4年生2,740人が受講し、出張講習は依頼を受けた5校で実施した。また交通安全を楽しく学べる交通安全学習センターへの家族での来場を呼びかけると共に、今後更に学校や家庭での安全教育を働きかけていく。

根本美春

諸派



- 医療体制充実への市長の姿勢を問う
- 国保税1世帯1万円の値下げの判断を

質問 医療に対する市の公的責任は重大

救急医療や在宅医療との連携実現などの公的責任を果たすため、新病院への財政支援等が必要と考えるが、市の考えはどのようなか。

答弁 市民福祉部

本市としては、豊田厚生病院、トヨタ記念病院、足助病院、地域医療センターの4つの病院を中心に、その他の病院及び診療所との機能分担と連携により医療提供体制の維持・充実を進めていく考えである。新病院は地域に必要な医療機能ではあるが、財政支援は不採算が見込まれるものに対して行っているため、現時点では新病院進出への支援は考えていない。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議員団 諸派：会派所属無

一般質問

岩田 淳

自民クラブ



- 行政が取り組む救急高度化体制の推進

質問 AED(自動体外式除細動器)への取組

コンビニエンスストア等、地域の目印となり、利用しやすい施設へのAED設置は有効と考えるが、AED適正配置のガイドラインを活用した今後の取組について伺う。

答 弁 健康部

AEDの屋外設置が有効と思われる公共施設等に屋外への移設を働きかけると共に、民間設置のまちかど救急ステーションの取組を進め、市内700台以上あるAEDを効果的に使用できるよう努める。また、スポーツ大会や地域行事へのAEDの貸出制度、救命処置を実践できる人を増やすための救命講習についても周知を図っていく。なおコンビニエンスストアへの活用は現段階では考えていない。



木本文也

自民クラブ



- より開かれた美術館運営
- 今後の緑地管理行政

質問 樹木整備計画

市内の公園等の樹木の中には、倒木の危険が高まっている古木もある。早期に樹木整備計画を策定し1日も早い再整備をすべきと考えるが、見解を伺う。

答 弁 都市整備部

既設公園の樹木については、枝や根の越境、倒木や落葉被害、毛虫の大量発生等、年間100件を超える要望や苦情を受けている。今後はこうした課題を解決するため、今年度作成している公園樹木の植栽・管理方針に基づき、次年度以降、既設公園の樹木の再整備計画を策定し、優先順位をつけ再整備を進めていくと共に、計画的・予防的な管理への転換を図っていく。

水野博史

自民クラブ



- 低炭素社会推進にむけての産学公民の取組
- 市民への情報発信の取組

質問 新豊田市ホームページの取組

市ホームページにある「市へのご意見」から頂いたご意見にどのように対応しているのか、「市民意見の把握と反映」について伺う。

答 弁 経営戦略室

ホームページをリニューアルした平成27年7月以降、約800件のご意見を頂いている。所管課である市政発信課への意見は、「要望」が約66%、「質問」が約23%、「提案」が約4%であり、回答が必要なものについては担当課が責任を持って回答し、それ以外についても貴重なご意見として業務の参考にしている。今後も貴重なご意見を頂きながら使いやすいホームページの管理運営、機能の充実に努める。

桜井秀樹

市民フォーラム



- 元気な高齢社会を過ごすために

質問 シルバー人材センターが担う高齢者施策

北九州市では新たなシルバー人材センター事業として「親孝行代行事業」に取り組む、元気な高齢者に活躍をいただいているが、本市でも同様の取組を担っていただくことができないか。

答 弁 社会部

高齢者世帯の増加につれ、離れて暮らす子ども世帯から安否確認や近況報告を兼ねて、家事援助や話し相手等を依頼したいという需要は今後増加すると考える。本市のシルバー人材センターでも、別居されているご家族からの依頼で、掃除、洗濯、通院介助等の援助業務を受注している例はあるが、見守りや情報伝達といった今後増えていくニーズに対しても同センターへ働きかけていきたい。

深津真一

自民クラブ



- 「子育てしやすいまち」を目指して
- 教育における「WE LOVE とよた」の取組
- 学校教育における学力・体力向上に対する取組

質問 子どもの学力向上に対する取組

2015年度全国学力・学習状況調査から見る本市の子どもの学力の状況と、今後の学力向上に向けた取組について尋ねる。

答 弁 学校教育部

小学校の国語では「話す・聞く」、「書く」、「読む」、「言語活動」の力をバランス良くつけているが、基礎基本について若干の課題が見られた。中学の数学・理科ではかなり力がつき、応用問題も解けた。学力向上については、学力向上推進委員会を中心に授業研究を進めている。基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと身につけると共に、それらを活用して課題を解決する授業をモデル授業として提案していく。今後は教員対象にモデル授業の研修会開催や動画配信、手引書を作成し、各校の授業で活用していく。

田代 研

公明党



- 防災・減災対策
- アレルギー対応給食

質問 食物アレルギー事故防止に向けた取組

アレルギー事故を多角的に防止するために、ICTを利用したアレルギー点検システム等を導入すべきと考えるが、市の見解は。

答 弁 学校教育部

食物アレルギー事故を予防する上で、献立にアレルギー原因食物が含まれるか否かの判断を確実に行うことは非常に重要である。そのためには給食に含まれるアレルギー原因食物の表示がわかりやすいことや保護者だけでなく学校側にもチェック体制が必要であると考え。ご提案のシステムは、保護者と学校双方の情報共有やチェック体制強化につながっている等の評価もあり、一つの事例として参考にしたい。



議員氏名
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
実際に質問した内容(小項目)

答 弁 回答した部局名
質問に対する市の担当部局の回答

鈴木孝英
市民フォーラム



●公共施設マネジメントへの取組

質問 公共施設にかかる更新・維持管理費用

本市の公共施設を取り巻く状況と課題について、どのように認識しているのか伺う。

答 弁 税務財産部

本市の公共施設は市域にバランスよく配置され、集客力のある施設は市街地中心部にあり、利用しやすい。一方で老朽化による更新費用の増大が予測され、公共施設現況調査報告書によると、現存する施設を全て存続した場合、平成27年から38年度までの更新費用は年平均60億円だが、それ以降は年100億円をこえる。こうした予測から更新費用の軽減・平準化が重要と認識し、今まで以上に施設の計画的な維持保全や効率的な施設運営を強力に推し進めることが課題である。

加茂みきお
自民クラブ



- 文化創造拠点ならびに歴史継承拠点
- 中央公園と毘森公園の再整備
- 交通の円滑化と事故対策

質問 文化創造拠点

文化創造拠点として新たな施設を建設しない理由、また新博物館の平成28年度以降の具体的な取組について聞く。

答 弁 教育行政部

理由としては、アンケート調査の結果、新規の施設整備等のハード面よりも事業展開や運営等ソフト面へのニーズが高かったことがあげられる。また、既存公共施設の利用状況を見ても新施設を建てるほど需要がない事、市民文化会館に有効活用できるスペースが存在している事等から、建設しなくても対応できるという判断に至った。新博物館は平成28年度は新博物館の理念・目的や事業の概要を定めた基本構想を策定予定であり、平成29年度以降に基本計画を策定していく。

塩谷雅樹
市民フォーラム



●健康への取組

質問 本市における国民健康保険の状況

特定健康診査の受診率の傾向と未受診者への対応、また岡崎市の「フィットネスジムを活用した保健指導」をもとに取組の提言を行ったが進捗を伺う。

答 弁 健康部

受診率は平成24年度が34.8%、25年度は35.3%、26年度は37.0%と増加傾向である。中学校区別では26年度は、最も低い区で30.6%、最も高い区で46.0%であり、受診率向上対策として電話、ハガキによる勧奨、特に受診率の低い地域では家庭訪問も実施している。健康施設を活用した保健指導は、平成25年度から特定保健指導修了者に豊田スタジアムでの運動教室を開始、25年度は年2回で86名、26年度は年2回で83名、今年度は年4回で117名の参加である。

羽根田利明
自民クラブ



●豊田市交通まちづくり

質問 道路ネットワークの強化と今後の取組

幹線道路整備により市内の幹線道路における交通渋滞が緩和されたと思うが、その具体的な効果と今後の取組について伺う。

答 弁 建設部

国道248号では挙母町1丁目からトヨタ町南までの北行きの平均走行速度は時速15kmから36kmに向上し所要時間も最大約8分短縮、南行きも時速13kmから27kmに向上し最大9分の短縮が図られた。一方慢性的な渋滞が発生している名古屋岡崎線の豊田南ICは6車線化、国道419号四郷町与茂田交差点は4車線化が必要と認識している。今後も県の渋滞対策に関する協議会である豊田エ

リアワーキング部会で、効果的・効率的なハード対策・ソフト施策を進める。



国道248号

原田隆司
自民クラブ



●将来に向けた道路整備のあり方

質問 本市における道路交通事情

人の1日の移動量を調査するパーソントリップ調査について、超高齢化社会を目前に将来どのように変化していくのか分析結果を伺う。

答 弁 企画政策部

本市と中京都市圏を対象に、概ね10年後、20年後となる平成37年、47年を分析した。本市の将来の総トリップ数は大きな増減がなかったが、中京都市圏では平成47年で6%の減少が予測され、本市の人の移動は引き続き活発であることがわかる。また、自動車移動が73.3%から74.7%、76.1%と増加し、鉄道・バス移動が減少した。特に女性高齢者の免許保有率が高くなっていく事、高齢者の移動手段の約8割が自動車による事が理由にあげられる。

大村義則
諸派



- 「都市と農山村の共生」を本物に
- 少人数学級の拡大へ、市長の決断を

質問 少人数学級拡大に対する市教委と市長の考え

小学校4年から6年への少人数学級導入を求める。以前の教育委員会の検討を踏まえた教育長の考え、また太田市長の考えについて伺う。

答 弁 学校教育部

少人数学級の効果は認識しているが、更に効果的な方法を研究している。



教育現場の様々な課題に対応するため、従来の少人数学級に加えて小学4年から6年の1学級35人を超える学年には、退職したベテラン教員を非常勤講師として加配する考えである。また今年度から市長が総合教育会議を主催し、少人数学級についても議論された。成果がある一方で解決できない状況もある事、ベテラン教員の活用等の議論も行い、本市独自のきめ細やかな指導を取りまとめていく事を確認した。

岡田 耕一

諸派



- 本市の子ども会活動への支援
- 豊田地域訪問看護ステーション

質 問 各種課題への対応

単位子ども会の資金不足を解消するため、市子連に加入すれば1単子ごとに補助金を別途交付する等対策が必要と考えるが、本提案を含め各課題への対応をどう考えるか。

答 弁 子ども部

単位子ども会は、加入数減少や活動の活性化等課題を抱えている。加入者数減少については保護者向けの子どもの会理解活動や学生サポート等による保護者負担の軽減、活動の活性化についてはおいでん・さんそんセンターのコーディネートによる新プログラム組立等を行い、対策をとっている。資源回収や子ども会運営への補助金増額の考えは今のところないが、子ども会活動は子ども同士が育ち合うための重要な機会であり、引き続き必要な支援を行っていく。

太田 博康

自民クラブ



- 関東・東北豪雨を踏まえた災害対策
- 地方創生に対する豊田市の対応

質 問 逢妻男川・女川及び巴川の災害対策

今後の河川監視について、監視カメラの設置を市独自で行う必要があると思われるが、どのようにお考えか。

答 弁 社会部

現在河川の監視カメラは、国土交通省が矢作川に設置した21台と本市が堤町の逢妻男川に設置した1台である。監視カメラは急激な河川水位上昇時にもリアルタイムに状況を把握し、住民への周知、適切な避難勧告に有効であると認識している。また映像はCATVと市のホームページを通じて市民に提供し、自主避難の判断材料にしてもらうことも可能である。逢妻男川・女川・巴川等への市独自の監視カメラについては、河川管理者である県と協議の上、設置を検討したい。

大石 智里

公明党



- ごみ収集の利便性向上
- 人口ビジョン・総合戦略の策定
- 生活困窮者自立支援事業の充実

質 問 燃やすごみ袋の改良

ゴミが入れやすく、一般的なごみ箱に被せられるサイズへの変更等、市民のニーズに合ったごみ袋にするための市の考えを伺う。

答 弁 環境部

サイズ変更のご提言については、次回の認定時期に合わせて、再度アンケートを行う等広く市民の皆様のご意見を聞いて検討していく。



古木 吉昭

市民フォーラム



- 組織力向上につながる人材育成の取組

質 問 これまでの取組と成果

市職員の市民応対力向上に対する

人材育成の考え方、また平成25年度に行った一般質問で提案した市民アンケートの常設について再度提言し、考えを伺う。

答 弁 総務部

応対能力の向上については、平成26年度から新たに、民間企業の接客の様子を撮影した映像や、優れた応対を行う市職員を撮影した映像を利用した研究を行い、応対能力の一層の向上を図っている。

アンケートについては、全ての職員が満足いただける応対が出来ていないことは課題であるので、今後も市民の様々なご意見を真摯に受け止め、より良い応対の実施に努めていきたい。そのため、ご提案の方法も参考にしながら、職員の応対に対して市民の方のご意見を伺う機会を増やすための工夫をしていく。

宮本 剛志

自民クラブ



- 豊田市地震被害予測結果を踏まえた災害対策

質 問 被害想定

被害予測結果から見える豊田市への影響について伺う。

答 弁 社会部

南西部での揺れが強く、旧耐震基準で建てられた建物の多くに被害が生じる事、東部・山間部では斜面崩落や道路が寸断される事、本市面積が広大で管路・電線の延長があるため1週間以上ライフラインが停止する事、南西部では建物被害や屋内での転倒・落下物等により多数の負傷者が発生する事、道路の渋滞により物資や負傷者等の搬送が困難になる事、本市の中心産業である自動車関連製造業の停止、被害の大きい自治体を支援するための拠点としての役割を担う事が予測される。



地域市議会報告会を開催しました

第1回 ◆日時 平成27年11月7日(土)午後2時から
◆場所 藤岡南交流館

第2回 ◆日時 平成27年11月14日(土)午後2時から
◆場所 豊田市福祉センター

内容
・9月定例会審議結果の報告/質疑
・参加者との意見交換



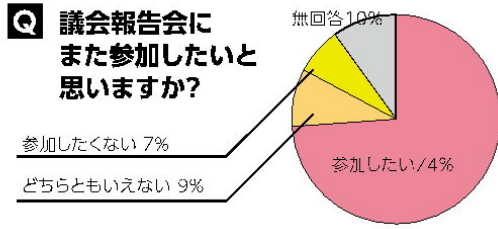
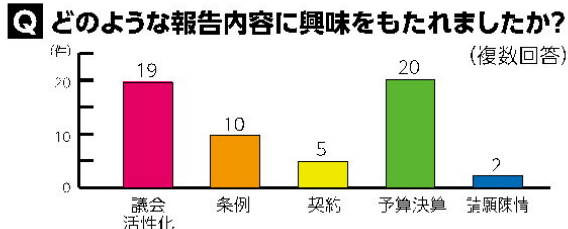
■藤岡会場での様子

開催概要

地域市議会報告会は、議員が各地域に伺って議会活動に伴う成果等を報告し、皆様との意見交換、情報共有等を行うものです。今回は藤岡南交流館、豊田市福祉センターで開催し、延べ67名の方にご参加をいただきました。

報告会では、9月定例会の報告を常任委員長が行い、議案審議に対する質問や議会に関する質問に回答するなど、参加者と意見交換を行いました。参加者の皆様にご記入いただいたアンケートについて、その一部をご紹介します。
※次回は、4月2日(上)午後2時から高岡地区で、4月23日(上)午後2時から小原地区で開催予定です。

アンケート結果 ※一部抜粋



中学生が議会を傍聴



12月7日、8日、9日の一般質問を藤岡中学校の生徒4クラス113人、藤岡南中学校の生徒4クラス138人が傍聴しました。

ラグビーW杯の開催支援



12月12日、2019年に豊田スタジアムで開催されるラグビーW杯に向けて、オール愛知で取り組む開催支援活動の一環として、ジャパンラグビートップリーグを観戦しました。今後も様々な機会を通じて、開催支援に取り組んでいきます。

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

「市議会だより」のバックナンバーや
詳しい会議録もご覧いただけます。

インターネット録画放送

豊田市議会 検索 <http://toyota-shigikai.jp>

「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



F M ラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継
チャンネル/78.6MHz

3月市議会定例会の予定

3月市議会定例会は
2月26日(金)開会予定です

※この冊子は、折込み「12月市議会定例会号」です。

※このページは裏面です。
本紙から抜き取ってご覧ください。



豊田市議会は、古紙配合率80%の再生紙と大豆インキ、有害な廃液を一切排出しない水なし印刷方式を採用しています